

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	03	104460	読書活動推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	読書活動の推進					
対象	乳幼児～高校生					
意図	乳幼児親子への絵本の配布や読み聞かせ指導、乳幼児～小学生低学年を対象にした「お話し会」を開催し、本に親しみながら親子のふれあいを深め、子どもの感性を磨き想像力を高める。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
①	ブックスタート及びブックスタートプラス事業 ・4か月児離乳食教室及び1歳6か月児健診に合わせ絵本を贈り読書指導。					
②	読書活動推進 ・社会教育指導員の配置及び乳幼児親子～小学校低学年を対象にした読み聞かせの実施。					
③	こども読書くらぶ ・読書習慣の定着化及び図書館の利用促進のため、小学生から高校生までを対象とした読書くらぶを設置し、テーマに沿ったくらぶ活動を実施。 (参考) H28活動テーマ「せいかつの中の情報の活かし方」 会員数 20名					
④	第3次子ども読書活動推進計画策定 (H29～H33) ・子どもが自主的に読書活動を行うことができる具体的な活動計画					
⑤	花巻市読書推進活動スキルアップ講座 (富士大連携) ・読書ボランティアや市民を対象とした図書館の基礎講座、読み聞かせ指導					
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	ブックスタート及びブックスタートプラス及びフォローアップ実施回数	回	計画	96	125	
			実績	102	124	
②	読み聞かせ実施回数	回	計画	78	125	
			実績	127	138	
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	ブックスタート及びブックスタートプラス及びフォローアップ参加率	%	目標	94.0	95.0	
			実績	98.9	98.2	
②	読み聞かせ参加者数	人	目標	1,940	1,800	
			実績	1,828	1,984	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成26年度から、ブックスタート事業の対象者を11か月児から4か月児に変更したことにより、早い時期から母子参加の機会を提供し、読書指導を行うことができている。読み聞かせ参加者数は子供が減少していることから目標値を見直したものであるが、参加者が興味を持ちやすいよう、職員及びボランティアが趣向を凝らして読み聞かせを実施していることにより、目標値を上回ったものと推測される。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	子どもの読書活動の推進に関する法律及び第二次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、市が読書活動の環境の整備を推進するものである。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	4か月児に、1歳6か月を対象とするブックスタート事業にフォローアップを加え、参加率の向上が図られた。また、事業の実施に当たっては、チラシやホームページ等を活用し、周知を図った。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、配布絵本の購入費や非常勤職員報酬がほとんどであることから、削減の余地はない。また、人件費はブックスタート等事業は、月4回(2時間程度)実施し、読み聞かせは、月3回(1時間程度)実施しており、その他はカウンター業務やレファレンス業務に当たっているため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全域の乳幼児等を対象としており、公平・適正に実施されている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年度から実施してきたブックスタートに加え、平成24年度から新たにブックスタートプラスとして1歳6か月児健診時に実施し、参加率の向上が図られた。引き続き2つの事業を実施することにより、早い時期からの読書習慣の定着を図ることができる。</li> <li>読み聞かせの参加者数はほぼ横ばい状態であるが、継続して実施することにより本への関心度をさらに高めることができ、読書習慣が身につくことが期待されるため、ひき引き続き広報誌・コミュニティFMの図書館インフォメーション等を活用して周知を図り、読み聞かせボランティアの協力を得て実施している。</li> </ul>		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	05	03	104460	読書活動推進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,318	6,502		184
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,318	6,502		184

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯

読書活動推進については、従前から各図書館で実施してきたが、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、この法律等に基づき、花巻市においても「子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の推進を図ってきた。

事業概要

- ①ブックスタート及びブックスタートプラス事業
  - ・4か月児離乳食教室及び1歳6か月児健診に合わせ絵本を贈り読書指導。
- ②読書活動推進
  - ・社会教育指導員の配置及び乳幼児親子～小学校低学年を対象とした読み聞かせの実施。
- ③こども読書くらぶ
  - ・読書習慣の定着化及び図書館の利用促進のため、小学生から高校生までを対象とした読書くらぶを設置し、テーマに沿ったくらぶ活動を実施。  
(参考) H28活動テーマ「せいかつの中の情報の活かし方」 会員数 20名
- ④第3次子ども読書活動推進計画策定 (H29～H33)
  - ・子どもが自主的に読書活動を行うことができる具体的な活動計画
- ⑤花巻市読書推進活動スキルアップ講座 (富士大連携)
  - ・読書ボランティアや市民を対象とした図書館の基礎講座、読み聞かせ指導

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・早い時期からの絵本の読み聞かせがその後の子どもの読書習慣に及ぼす影響が大きいことから、保健センターとの協議により、4か月児の離乳食教室で絵本を贈り、読書指導を行うこととした。また、引き続き1歳6か月児を対象としたブックスタートプラスを実施するとともに、不参加者の対応としてフォローアップを行い、参加率の向上を図る。
- ・読書活動の推進には、読み聞かせボランティア団体との協力連携が必要であることから、団体間相互の情報交換の場や読み聞かせボランティアの研修機会を設ける。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻図書館 担当係長 伊藤 佐代 内線 8-383

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- ①ブックスタート及びブックスタートプラス事業 1,759千円 (前年比+115)
  - ・保健センターで開催される4か月児の離乳食教室(ブックスタート)及び1歳6か月児健診(ブックスタートプラス)に合わせて、絵本を贈り読書指導を行う。

1ボランティア謝礼 120	花巻	大迫	石鳥谷	東和
2需用費(絵本等) 1,629	毎月各2回	隔月1回	各隔月1回	毎月1回
3切手代 10				
- ②読み聞かせ事業 4,495千円 (前年比△56)
  - ・乳幼児親子から小学生低学年を対象とした読み聞かせを実施。

1社会教育指導員報酬 2人 3,770	花巻	お話会(0～2歳、3～4歳、5～小学低学年対象) 毎月各1回
2社会保険料等 503	大迫	お話でてこい 毎月1回
3講師、読書ボランティア謝礼 146	石鳥谷	おはなし会 毎週1回
4読み聞かせ消耗品 76	東和	読み聞かせ会 月2回
- ③こども読書くらぶ事業 104千円 (前年比△19)
  - ・会員制の「こども読書くらぶ」を設置し、各図書館のテーマ別活動を通じて読書週間の定着化や本と親しむ喜び、学習のコツなどを体得させる。

1講師、ボランティア謝礼 24	
2需用費(消耗品) 60	
3切手代 20	
- ④第3次子ども読書活動推進計画の策定 54千円 (皆増) \*第2次H24～28
  - 子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を推進する。

1計画検討委員会謝礼 46	
2需用費(消耗品) 4	
3切手代 4	
- ⑤読書推進活動スキルアップ講座 112千円 (皆増)
  - 読書活動を行っている個人、団体等のスキルアップを図るとともに、習得した知識や技術を図書館運営に活かすことにより、市民参画による開かれた図書館運営を目指す。

1講師謝礼 90	
----------	--

【講座内容】

1 図書館の役割	} 1, 2回は富士大学による講座
2 これからの児童サービス	
3 児童文学の世界「つづきの図書館」から	
4 読み聞かせ実践講座	
5 先進地視察研修	

7

平成 年度事業説明資料 【 当初予算 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-1*	事業名
一般	10	05	03	104460	読書活動推進事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

